

宮代町教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(令和元年度事務事業)

令和2年8月

宮代町教育委員会

目 次

はじめに	・・・	1
I. 令和元年度の宮代町教育行政重点施策	・・・	2
II. 評価方法について	・・・	2
III. 施策ごとの事務事業の点検・評価		
方針Ⅰ 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成		
基本目標1 確かな学力と自立する力の育成	・・・	3
基本目標2 健康で心豊かな児童生徒の育成	・・・	9
基本目標3 地域に開かれた、質の高い学校教育の推進	・・・	15
方針Ⅱ 町民の創意を生かした学びの場づくり		
基本目標4 家庭・地域の教育力の向上	・・・	21
基本目標5 生涯学習とスポーツの振興	・・・	23
IV. 宮代町教育振興基本計画 成果目標達成状況	・・・	33

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされています。

宮代町教育委員会では、同法の趣旨に基づき、「宮代町教育行政重点施策」に沿って教育行政の執行状況を自己点検し、今後の教育行政に生かすとともに、町民のみなさまに説明責任を果たすべく、令和元年度における教育委員会の事務に関する点検・評価を実施し報告書にまとめました。本報告書を通して、町民のみなさまに各事業がどのように展開されているのか、その執行状況を公表し、ご意見をいただき、よりよい宮代町の教育を充実、実現してまいりたいと考えております。

なお、この点検・評価を行うにあたりましては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するとともにその客観性を確保する観点から、3名の外部評価委員からご意見をいただきました。

今後とも教育行政の執行状況について点検・評価を実施し、効果的な教育行政を推進してまいります。

令和2年8月

宮代町教育委員会

I. 令和元年度の宮代町教育行政重点施策

宮代町教育委員会は、「憧れを未来につなぎ、生きる力をはぐくむ宮代教育」を基本理念として、2つの基本方針の下、5つの基本目標に基づいて教育各分野の施策に取り組んできました。

基本目標	
方針Ⅰ 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成	
1 確かな学力と自立する力の育成	
2 健康で心豊かな児童生徒の育成	
3 地域に開かれた、質の高い学校教育の推進	
方針Ⅱ 町民の創意を生かした学びの場づくり	
4 家庭・地域の教育力の向上	
5 生涯学習とスポーツの振興	

町民一人一人が、さまざまな社会環境の変化に対応し、人間と環境が調和した景観を創造していきながら、ゆとりと生きがいのある充実した生活を送るため、自ら学び、豊かな感性と創造性に富み、地域社会に貢献できる21世紀を担う心豊かな人間の育成が図られるよう、引き続き町民の期待に応える教育を推進してまいります。

II. 評価方法について

1. 自己評価

教育委員会では、令和元年度に実施した各事務事業の実施結果を、「I. 宮代町教育行政重点施策」に掲げる各目標に照らした「達成度合い」を以下の4段階に分けて自己評価を行いました。

◎ 前進	○ 達成	△ 未達成	× 未実施
実施内容の向上・改善 新たな取組の実施	教育重点施策に掲げる 目標を達成	予定・計画の水準未達 期限までに未完了	事業未実施

2. 外部評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、教育委員会の事務の点検評価にあたっては「教育に関し学識経験を有するものの知見を活用する（同法第26条）」とされています。令和元年度に実施した各事務事業の点検評価にあたっては、「1. 自己評価」に基づき、3名の方に点検評価を行っていただきました。

氏名	分野
武正 光江	学校教育（元小学校長）
金子 亜季	保護者（宮代町PTA連絡協議会）
石田 俊幸	生涯学習（宮代町体育協会）

〔敬称略〕

方針1 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成
 基本目標1 確かな学力と自立する力の育成

施策（1）一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、個性を生かす教育の充実		自己評価
取組 ア 教科指導の充実と指導方法の工夫・改善 <ul style="list-style-type: none"> ・学校課題研究の推進 ・町研究委嘱 各小中学校での授業研究実践 ・文部科学省指定「教育課程特例校」 小学校における英語教育の充実 	学校教育	○
イ 学力学習状況調査等の結果の分析と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上等検討委員会 調査結果の分析による各校課題の解決に向けた具体的な指導内容や指導方法についての情報交換と各校の取組内容、成果、課題等の研究 	学校教育	○

- ▼宮代町教育委員会による委嘱研究推進（各小中学校）
町委嘱研究発表会開催
笠原小 令和元年11月8日
テーマ 「学びを楽しみ、進んでコミュニケーションしようとする児童の育成」
～聞くことを大切にした授業の工夫（英語科）～
前原中 令和元年11月20日
テーマ 仲間とともに、主体的に活動する生徒の育成
～前中授業スタイルの充実～
- ▼教育課程特別校指定事業（H30～H31文部科学省委嘱）
小学3・4年生は週1時間、5・6年生は週2時間の英語授業数増（H30～31）
- ▼宮代町教職員全体研修会開催（令和元年8月23日開催）
講演「学校におけるメンタルヘルス」
- ▼宮代町教育課程検討委員会（令和元年12月12日）

- ▼学力向上等検討委員会（年間3回開催）
調査結果から明確となった自校の課題や課題解決に向けた具体的な指導内容や指導方法についての情報交換と各校の取組内容、成果、課題等の共有
- 第1回学力向上対策委員会
期日：令和元年5月16日開催
内容：令和元年度各小中学校の学力向上の取組
- 第2回学力向上対策委員会
期日：令和元年8月22日開催
内容：埼玉県学習状況調査の分析と今後の各小中学校の取組
- 第3回学力向上対策委員会
期日：令和元年12月6日
内容：全国学力学習状況調査の分析と各小中学校の取組

<p>ウ 少人数指導・習熟度別指導によるきめ細やかな指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町費非常勤講師配置 ・少人数指導やティームティーチングの指導による、個に応じたきめ細かな指導 	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p>エ 中学校区を中心とした特色ある小中一貫教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育推進委員会 ・各小中学校で特色を生かした年間計画の作成と実践、課題共有 ・交流活動、交流授業、出前授業 ・島村盛助を顕彰する英語活動発表会、小中合同研修会 ・9ヵ年を見通したカリキュラム 	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p>施策（２）伝統と文化を尊重し、国際性をはぐくむ教育の推進</p>		<p>自己評価</p>
<p>取組</p>		
<p>ア 伝統と文化を尊重する教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の偉人「島村盛助」を顕彰する英語活動発表会 	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p>イ 外国語活動・英語教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語教育研修会の実施 ◎令和２年度の小学校英語の教科化に先立ち、町内全小学校において新教科「英語科」を実施 ・英語教育時間の拡大 小学校３・４年生 年間３５時間 小学校５・６年生 年間７０時間 ・ALT（英語指導助手）の配置 小学校２校につき１名配置 日本人英語指導助手の配置 ◎英語教育の充実を図るため、希望する児童生徒に対し英語検定受験料の助成 	<p>学校教育</p>	<p>○</p>

<p>▼小学校 非常勤講師を8人配置し、個に応じた指導を実施 非常勤講師が担任と協力し、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習形態を柔軟に取り入れた、特に算数の授業において個に応じたきめ細かな指導</p> <p>▼中学校 非常勤講師を6人配置し、個に応じた指導を実施 非常勤講師と教科担任が協力し、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習形態を柔軟に取り入れ、個に応じたきめ細かな指導が充実 各校の実態に応じて、国語2名、社会1名、数学1名、理科1名、英語1名を配置</p>	<p>・非常勤講師と担任と一緒にクラスに入っている姿を何度も見かけており、きめ細やかな指導をしてくださっているのだらうと思います。</p>
--	---

<p>▼小中一貫教育推進委員会（年間2回開催） 第1回（令和元年6月12日開催） 各中学校区における本年度の年間計画及び具体的な取組について 第2回（令和2年3月10日） 中止 各中学校区における本年度の実践内容と次年度に向けた課題について</p> <p>▼交流活動、交流授業、出前授業、9年間を見通したカリキュラム等、各中学区で学校の実態に即した特色ある教育活動を推進</p>	<p>・9年間を見通したカリキュラムによる教育活動の実践や、交流授業や出前授業等を通し、小学校から中学校へと確実な学習の積み重ねが実現できていることに感謝します。生活の決まりや学び方のルール等も、小学校・中学校で連携を図り、共通理解・同歩調で取り組むことで、より一層 確かな学力の向上が目指せるのではないかと思います。</p>
---	---

令和元年度の執行状況	点検・評価委員意見
------------	-----------

<p>▼郷土の偉人「島村盛助」を顕彰する英語活動発表会 令和元年10月3日<前原中学校区> 10月8日<須賀中学校区>・10月29日<百間中学校区></p>	
<p>▼外国人英語指導助手（ALT）配置 （中学校各1名、小学校2校に1名） 具体的な場面や状況にあった適切な表現を自ら考えた言語活動など、コミュニケーション能力の向上のため活用</p> <p>▼日本人外国語活動補助員を配置（小学校各1名） 教員とALT、児童とのコミュニケーションの活発化</p> <p>▼外国語活動・英語教育研修会の開催（令和元年8月27日）</p> <p>▼教育課程特例校指定事業（H30～H31文部科学省委嘱） 小学3・4年生は週1時間、5・6年生は週2時間の英語授業数増（H30～31）</p>	<p>・小学校での英語の教科化に伴い、教員の英語の指導力の向上は欠かせないものです。今後も小学校の教員の指導力の向上を目指した研修の充実をはかっていただきたいと思います。</p> <p>・学校で習った英語のフレーズを、自宅で口にする姿が見られており、英語教育の効果を感じています。</p>

施策（3）社会の変化に柔軟に対応する学校教育の推進 自己評価

<p>取組</p> <p>ア 環境教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮代江戸の日<夏>（7月の第1土曜日）の取組 ・宮代江戸の日<冬>（1月の第2土曜日）の取組 ・キッズエコサミット（12月）の開催 	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p>イ 情報教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル教育 児童生徒、保護者、教職員を対象とした情報モラル教育実施による、ネットトラブル防止を含めた、情報モラル意識の向上 ◎ ICT教育の推進 プログラミング教育 パソコン教室リプレースに合わせた実践的取組の検討 タブレットの導入 	<p>学校教育 教育総務</p>	<p>◎</p>

施策（4）特別支援教育の推進 自己評価

<p>取組</p> <p>ア 障がいのある児童生徒一人ひとりのニーズに応じた適正な就学支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学支援委員会（年3回） 特別な配慮を必要とする児童生徒への教育・医療・福祉等専門的分野からの適切な支援 ・特別支援学級 特別な支援を要する児童生徒の教育的ニーズに応じた、適切な指導の実施 ・ことばの教室（百間小学校） 聴覚及び言語に課題のある児童に、課題の改善・克服に必要な技能を身につけさせる指導の実施 	<p>学校教育</p>	<p>◎</p>
<p>イ 特別支援教育体制の確立と交流及び共同学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流活動の実施 宮代特別支援学校・春日部特別支援学校と小・中学校との交流活動 ・特別支援学校との連携（支援籍学習・共催の研修会・ホームチーム訪問 等） 	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p>ウ 特別支援教育サポーターの効果的活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育サポーター ・特別な支援を要する児童の教育的ニーズに応じた支援の補助 	<p>学校教育</p>	<p>○</p>

<p>▼環境教育担当者会議の開催（令和元年5月28日） 各校の環境教育の取組、キッズエコサミット・子ども環境会議について</p> <p>▼宮代夏の江戸の日（7月6日）冬の江戸の日（1月11日）の取組 庁舎内に各小中学校の代表的な取組を掲示（各校30名）</p> <p>▼キッズエコサミット（令和元年12月11日） 各校の取組発表、ゴミの削減に関するパネルディスカッション</p>	
<p>▼パソコン教室のリブレース、導入研修の実施 （令和元年9月30日） 各学校タブレット端末40台導入 全ての普通教室へのメディアボックスの導入</p> <p>▼プログラミング教育の実施 小学校4・5・6年生各学年5時間プログラミング体験学習</p>	<p>・メディアボックスの導入は、学びのあり方を大きく変えるものだと思います。是非有効活用を図り、授業の改善にICTの活用を明確に位置づけ児童生徒の学力向上につながる取組にしていきたいと思います。</p> <p>・子どもから、授業で鳥の動画をみた、と嬉しそうな報告を受けることがあり、メディアボックスが有効に活用されていると感じています。また、懇談会では、子どもたちの普段の姿を写真や動画で見せて下さるので、懇談会の楽しみの一つになっています。</p>

<p>▼就学支援委員会 （年間3回開催 令和元年6月6日、11月7日、令和2年1月16日） 特別な配慮を要する児童生徒に対する教育・医療・福祉等専門的分野からの適切な支援</p> <p>▼特別支援教育サポートチームによる各小・中学校訪問 （各校1回以上実施） 児童生徒の観察と、専門的な立場から対象児童生徒の問題分析と効果的な指導法や対処法について学校へ提案 学校からの要請に応じて、発達検査（ウイスクIV）の実施</p> <p>▼百間小学校「難聴・言語通級指導教室」開設（H28～） R1より2教室開設 登録児童数47名（授業数：週1時間/児童）</p>	<p>・ことばの教室を1教室増設するなど、児童生徒一人一人のニーズに応じた指導が充実していることに感謝します。今後も、児童生徒の課題を的確に把握し、一人一人に寄り添った指導がより一層充実していくことを期待します。</p> <p>・ことばの教室は、熱心な指導がなされており、ことばの癖が大きく改善されたと伺っています。ただ町の南側の百間小にあり地域によっては少し遠く、1時間の授業内に行うのは大変なので、須賀小で実施するなど、時に余裕が持てるようにできればさらに良くなると思います。</p>
<p>▼交流活動（宮代特別支援学校、小中学校間）の実施</p> <p>▼支援籍の実施（各小学校）</p>	
<p>▼特別支援教育サポーター配置（小学校各1名） 特別に配慮を要する児童に対する適切な支援</p>	

基本目標2 健康で心豊かな児童生徒の育成

施策(1) 豊かな心をはぐくむ教育の推進		自己評価
<p>ア 道徳教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮代道徳の日（毎年11月19日）の取組 規範意識や生命を大切にする心、他人を思いやる心等の豊かな心の育成に向けた学校における取組を地域へ発信 郷土資料・彩の国道徳資料の活用 郷土道徳資料（「島村盛助」「どんぐりピアノ」「山崎山」）を活用した、心の教育の推進 道徳教育に対する教員の意識や授業力の向上 	学校教育	○
<p>イ 豊かな心をはぐくむ体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> みどりの学校ファーム 米作り、野菜作りの実施 各小中学校での福祉体験学習 車椅子・点字・手話・アイマスク体験 	学校教育	○
<p>ウ 読書活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書ボランティア活用 各小中学校の図書室の整備・本の紹介等、読書環境の充実 町立図書館との連携強化 図書館司書の巡回と新図書館システムによるデータ連携 	学校教育 生涯学習	○
<p>エ キャリア教育・職業教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生社会体験チャレンジ事業の推進 事業所などの職場で働き、また働く人と接することを通して、生徒の勤労観、職業観を育成 	学校教育	○

- ▼「宮代道徳の日（11月19日）」の設定（各小学校で実践）
規範意識や生命を大切に作る心、他人を思いやる心等の豊かな心の育成に向けた取組準備
- ▼郷土道徳資料（「島村盛助」「どんぐりピアノ」「山崎山」）の活用
身近な地域教材を活用した心の教育の推進
道徳教育に対する教員の意識や授業力の向上
- ▼年次研修における授業研究会の実施

・「宮代道徳の日」の実施や、郷土道徳資料の活用等により道徳教育の充実を図っていただき感謝します。今後、自分の頭で考え、他者と協働しながらより良い解決策を生み出していく力を育成するために、道徳教育のより一層の充実に努めていただきたいと思います。

- ▼学校ファームの推進（各小中学校）
- ▼各小中学校での福祉体験学習
（車椅子・点字・手話・アイマスク体験）

- ▼朝の読書活動、学校図書ボランティア活用、学校図書の充実（各小中学校）
小学校における「読み聞かせ、読み語り」の実施
- ▼小中学校と町立図書館との連携
 - ①全小中学校への司書の派遣、②学校への図書の貸し出し、③小学校1年生へのブックスタート（本のプレゼント）を実施

・家庭では、本を読むきっかけを作ることが難しいので、学校での取り組みをありがたく思います。一方で、新型コロナウイルスの感染対策として、図書の利用の仕方、人々の感染対策への意識が変わり、以前よりも図書を利用しにくい状況があります。そのような中でも、工夫をし、ぜひ、引き続き読書活動の充実を図っていただきたいと思います。

- ▼職場体験学習を各中学校で実施（6月実施・中学2年生）
事業所などの職場で働き、また働く人と接することを通して、生徒の勤労観、職業観を育成

施策（２）総合的な不登校対策の推進		自己評価
取組		
ア 教育相談体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・相談、支援体制の整備 教育相談員配置（事務局1名）、学校訪問（月1回） スクールカウンセラー（県より2名、各中学校に配置） さわやか相談員（各中学校に1名配置） ボランティア相談員（各中学校に1名配置） 不登校対策学習支援員（各中学校に1名配置） スクールソーシャルワーカーを小学校に1名配置（拠点校 百間小） 子供の家庭環境による問題に対処するために、関係機関との連携や 教員を支援 	学校教育	○
イ いじめ防止・不登校対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・宮代町いじめ不登校対策連絡会議の実施（年3回） ・各校でいじめ防止基本方針の改定 	学校教育	○
施策（３）健康・安全教育の推進		自己評価
取組		
ア 交通安全教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全啓発資料「気をつけて」の作成 ・交通安全ポスター・作文コンクール ・交通安全教室（各小中学校） 	学校教育	○
イ 防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練（各校） 地震・火災・竜巻・不審者対応訓練の実施 	学校教育	○
ウ 防犯教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯ブザー配布（小学1年生） ・薬物乱用防止教室 ・不審者対応訓練 	学校教育	○
エ 体力向上を図る指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上推進事業 授業研究会・各校の実態に応じた取組の実施 	学校教育	○
オ 学校保健の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会 各校において児童生徒の健康増進に関する取組の実施 	学校教育	○

令和元年度の執行状況	点検・評価委員意見
<ul style="list-style-type: none"> ▼不登校対策学習支援員配置（中学校各1名） ▼教育相談員（教育委員会事務局内1名配置） 教育相談員による学校訪問（毎月1回、各小中学校を訪問） ▼さわやか相談員（中学校各1名配置）、ボランティア相談員（中学校各1名配置） さわやか相談室等で学び、教室への復帰支援 ▼スクールカウンセラー（県より各小中学校に1名ずつ配置） 須賀中 毎週、前原中・百間中 隔週 各小学校年11回 専門的な見地からの保護者への支援や相談活動 ▼スクールソーシャルワーカー配置（拠点：百間小学校） 	<p>・教育相談員、さわやか相談員、ボランティア相談員等の配置により、教育相談体制の充実を図っていただき感謝します。教育相談体制充実にあわせて、教員のカウンセリングの資質の向上に努めていただきたいです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ▼いじめ・不登校対策会議の実施（年間3回、各学期1回） 各校の課題や成果ある取組についての共有化 	

令和元年度の執行状況	点検・評価委員意見
<ul style="list-style-type: none"> ▼啓発用資料・防犯対策啓発資料「気をつけて」（発行） ▼交通安全ポスター、作文コンクール ▼交通安全教室開催（各小中学校） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ▼避難訓練（各小中学校） 地震、火災、竜巻等を想定した避難訓練及び引渡し訓練の実施 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ▼防犯ブザーの配布（新入学児童 全員） ▼各小中学校において年に1回、薬物乱用防止教室を開催 ▼不審者対応避難訓練の実施（各小中学校） 	<p>・危機管理を充実させなければならない状況が増えています。引き続き、危機管理体制の整備と、安全指導の徹底、安全教育のより一層の充実をお願いいたします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ▼宮代町立小・中学校児童生徒体力向上推進委員会（年間4回） 体育部会 進んで体力づくりに取組める児童生徒の育成（前原中研究授業） 保健部会 自らの健康を保持・増進できる児童生徒の育成（各校の健康教育の実践） 	
<ul style="list-style-type: none"> ▼令和元年度第66回埼玉県学校歯科保健コンクール ▼学校保健委員会 各小中学校における学校保健委員会の実施 	<p>・新型コロナウイルスの感染拡大防止のための、感染対策のうち、丁寧な手洗いの習慣など、健康増進のためになるものは、感染が収束してからも引き続き継続していただきたいと思います。</p>

施策（４）学校教育における人権教育の推進		自己評価
取組		
ア 人権教育推進体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> 宮代町人権教育推進協議会との連携 人権問題研修会開催、各種研修会への参加 	学校教育	○
イ 人権教育の指導内容、指導方法の工夫・改善 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの人権講座（対象：小学6年生、11月） 人権作文発表会 人権作文「あおぞら」の発行 人権教育に関する研修会 	学校教育	○
施策（５）学校給食の充実と食育の推進		自己評価
取組		
ア 学校給食の充実 <ul style="list-style-type: none"> 多様な献立メニュー 「世界の料理」「日本全国の郷土料理」「季節の行事食」「我が家の自慢料理」など、楽しく食べながら社会性や豊かな人間性を醸成する取組 地場産食材の活用促進 アレルギー対策 除去食、代替食の提供 学校給食アレルギー対応会議の開催（各小中学校） 	教育総務	○
イ 食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> 栄養指導（全小中学校、小学1年生から中学2年生） 学年毎テーマを設けて食育を推進 家庭向けの食育推進 給食だより（毎月）、食育だより（毎学期）の発行 	教育総務	○
ウ 衛生管理の徹底 <ul style="list-style-type: none"> 衛生点検の実施 <p>◎給食センタートイレ改修工事の実施</p>	教育総務	○

令和元年度の執行状況	点検・評価委員意見
<p>▼各種研修会と宮代町人権教育推進協議会による活動 人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくりの推進が図られ、研修等を通して人権について考えるきっかけを提供し、人権を尊重する意識を高揚</p> <p>▼教職員研修会開催（令和元年8月22日） テーマ「差別の現実から学ぶ」 113名</p> <p>▼宮代町人権教育推進協議会による啓発研修会 令和元年6月21日 30名</p>	<p>・望ましい人間関係づくりには児童生徒一人一人の人権意識が必要不可欠です。引き続き人権作文発表会や子ども人権講座等の実施により人権意識の高揚に努めていただきたいと思います。</p>
<p>▼子ども人権講座（令和元年11月25日、27日 小学6年生）</p> <p>▼人権文集（あおぞら第25集）の発行準備 700部</p> <p>▼人権作文発表会（令和元年12月5日 小中学生）</p>	
令和元年度の執行状況	点検・評価委員意見
<p>▼多様な献立メニューの実施 「外国料理（アイルランド、ドイツ等）」「各都道府県の郷土料理」「季節の行事食」「リクエスト献立」「我が家の自慢料理」など、楽しく食べながら社会性や豊かな人間性を醸成</p> <p>▼地場産食材の活用 新しい村と宮代町立学校給食センターとの意見交換会（7月実施）</p> <p>▼放射線対策 使用食材の産地（予定・実績）公表（毎月） 使用食材の放射性物質の測定（毎週1回、3品目）</p> <p>▼アレルギー対策 除去食、代替食の提供 学校給食アレルギー対応会議の開催（各小中学校）</p>	<p>・アレルギーのある児童生徒一人一人に除去食や代替食等の提供を実施していただき感謝します。引き続き、食の安全への取組の充実をお願いします。</p>
<p>▼食育の推進 学年に応じたテーマによる栄養指導（小学1年生～中学2年生） 給食だより（毎月）、食育だより（毎学期）による食育推進</p>	
<p>▼施設の定期保守・点検と改修・修繕 適宜、改修・修繕の実施 給食センタートイレ改修工事の実施（令和元年9月12日）</p>	

基本目標3 地域に開かれた質の高い学校教育の推進

施策(1) 創意を生かし、家庭・地域に開かれた特色ある学校づくりの推進	自己評価	
ア 学校評議員の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員会開催(各校5名) ・毎学期、教育活動全般についての意見交換を通じて提言や意見を 活用した特色ある学校づくりの展開 	学校教育	○
イ 学校教育情報の積極的な発信 <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校HP、学校だより等 ・授業公開、学校行事公開(運動会、文化祭、合唱祭等) 	学校教育	○
ウ 学校評価の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の実施と分析、活用、結果の公表 	学校教育	○
エ 学校応援団の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・町民みんなが先生制度 ・環境整備、学習ボランティア 他 	学校教育	○
オ 家庭・地域と連携した学校の安全対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・こども110番の家 ・スクールガードの配置(各小学校で組織) ・通学路点検 	学校教育	○

<p>▼学校評議員会設置（各小中学校5名委嘱） 教育活動全般についての意見交換 提言や意見を活用した特色ある学校づくりの展開 次年度の学校課題や目標設定の参考として活用 地域での子供たちの様子等についての意見から具体的な対応を 実践</p>	
<p>▼学校要覧、学校パンフレットの作成（各小中学校） ▼学校だよりの作成（各小中学校） 地域へも配布 ▼学校ホームページの更新（各小中学校）</p>	<p>・各学校共に、ホームページ等を活用して学校の教育方針や教育活動の様子などの情報を発信していただき、学校で学ぶ子どもの姿がよく分かります。</p>
<p>▼学校関係者評価の実施 ▼保護者、地域への学校評価の公表 学校の課題の明確化と、次年度に向けての教育計画の更新</p>	
<p>▼学校応援団活動 図書ボランティア、環境整備、部活動・学習支援、 スクールガード 他</p>	
<p>▼「こども110番の家」の設置（121軒） 抑止力として、不審者による重大な事件発生なし ▼「スクールガード」（各小学校で組織、計254名） 「スクールガードリーダー」（小学校に各1名、県からの委嘱） 下校時における不審者情報の減少 地域の防犯意識の高揚 ▼各小中学校における避難訓練（毎学期） ▼緊急時における対応マニュアルの見直し</p>	<p>・登下校、特に登校時は、多くの方に見守られ、感謝しています。</p>

施策(2)教職員の資質向上		自己評価
取組		
ア 人事評価制度の充実 ・年間スケジュールに基づいた人事評価の充実	学校教育	○
イ 教職員研修の充実 ・臨時的任用教員研修、町非常勤講師研修、年次研修の充実 ・各種研修会への参加推進	学校教育	○
ウ 教職員モラルの向上 ・倫理確立委員会及び服務研修会（各校） 年間計画に基づいた、ボトムアップ型の研修会実施	学校教育	○
エ 教職員の健康管理 ・教職員健康診断の実施（8月） ・ストレスチェックの実施（9月）	学校教育	○

施策(3)学習環境の整備・充実		自己評価
取組		
ア 学校施設・設備の整備 ・小中学校施設の管理運営（保守、修繕・改修） 防犯カメラによる防犯対策の実施 ・教育系ネットワークシステム整備 校務支援システム ◎ICT教育の推進 プログラミング教育 パソコン教室リプレースに合わせた実践的取組の検討 タブレットの導入 ◎小中学校特別教室へのエアコン設置（H30繰越） 国の冷房設備対応臨時特例交付金を活用した小中学校 特別教室へのエアコン設置 ・小学校 理科室、図工室、家庭科室等 ・中学校 理科室、技術家庭科室、被服室、美術室等	学校教育 教育総務	◎
イ 教材教具の整備と効果的な活用 ・教材教具・備品整備	学校教育	○

<p>▼年間スケジュールに基づいた人事評価の充実 適切な人事評価実施のために研修会実施</p>	
<p>▼対象、階層別研修 臨時的任用教員研修、町非常勤講師研修、年次研修の充実 各種研修会の実施</p>	<p>・教育の質の向上のために、引き続き、教員の研修を充実させていただきたいです。特に中堅教員の指導力の向上を図り、学校の教育力をより一層高めていくことを期待します。 ・メディアボックスを導入していただいたので、教員に対してICT活用研修を実施し、ICTを活用した指導法の改善に取り組んでいただきたいと思います。</p>
<p>▼倫理確立委員会及び服務研修会の実施（各校）</p>	
<p>▼教職員健康診断（令和元年8月29日） ▼ストレスチェック（令和元年11月）</p>	<p>・校内の消毒作業という業務が増え、教職員の負担は大きくなっていると思います。教職員の心身の状態は、子どもに影響していきますので、より一層、教職員の健康状態への配慮をお願いします。</p>

<p>▼学校施設環境の維持・改善 笠原小学校職員駐車場整備工事（令和元年9月30日）</p> <p>▼教育系ネットワークシステム 校務支援システムによる児童生徒情報管理、成績処理 操作研修会の実施（適宜）</p> <p>▼小中学校パソコン教室へのタブレット端末の導入 （令和元年9月30日）</p> <p>▼小中学校特別教室エアコン設置工事の設計及び契約手続 契約に関する議会議決（令和元年9月26日） 小中学校特別教室（43教室）へ設置（令和2年3月30日）</p>	<p>・校務支援システムを活用して校務の効率化を図り、校務の軽減ができればと思います。また、ネットワーク上の情報の管理について、セキュリティ対策の強化をお願いします。 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う長期休校を教訓に、急な休校でもオンライン授業ができるくらいの環境作りをしていってほしいと思います。</p>
<p>▼授業の内容を深め、学力向上を図るため教材教具の設備充実 理科・音楽・家庭科等の教材教具 温度記録計・円の面積説明教具・生物顕微鏡・双眼実体顕微鏡・簡易光学台・ミクロトーム・U形磁石・クルックス管・映写対応両面ホワイトボード、オルガン・箏・バストロンボーン・マーチングキーボード、ミシン、電子黒板ユニット、ひな壇及び収納台車）</p>	

<p>ウ 町立小中学校の適正配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会 審議会による検証 ・広報活動 「教育だより」発行 ◎小学校校舎劣化診断の実施 	<p>教育総務</p>	<p>○</p>
<p>エ 就学に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助制度の活用推進 	<p>学校教育</p>	<p>○</p>

▼宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会の開催

- 第1回会議 令和元年 7月17日
「適正配置に関するこれまでの取組について」
- 第2回会議 令和元年 9月19日
「適正配置計画等の検証について」
- 第3回会議 令和元年11月27日
「適正配置計画等の検証について」
- 第4回会議 令和2年 1月31日
「適正配置計画等の検証について」
- 現地視察 令和2年 2月14日
視 察 先：群馬県甘楽町役場、甘楽町立甘楽中学校
視察内容：群馬県甘楽町の小・中学校適正配置に関する取組

▼教育だよりNo.5（令和元年8月30日発行）、
教育だよりNo.6（令和2年4月1日発行）

▼小学校校舎劣化診断（令和元年7月～令和2年2月）
令和元年7月16日契約
構造躯体の健全性の把握等

▼就学援助費の支給（ ）内は前年度

小学校	対象者	金 額
就学援助費支給者	130名	7,931,931円
	(127名)	3,252,998円)
特別支援教育就学奨励費支給者	14名	396,851円
	(14名)	314,397円)
新入学児童生徒学用品費支給者	36名	1,984,800円
中学校		
就学援助費支給者	98名	9,176,480円
	(97名)	5,122,992円)
特別支援教育就学奨励費支給者	13名	474,660円
	(13名)	256,384円)

方針2 町民の創意を生かした学びの場づくり

基本目標4 家庭・地域の教育力の向上

施策(1) 家庭の教育力の向上 自己評価

取組		
ア 家庭教育学級活動の推進 ・家庭教育学級開催 学校との連携	生涯学習	○
イ 家庭教育への支援 ・家庭教育支援 入学準備金貸付金補助 奨学資金貸付	教育総務	○

施策(2) 青少年健全育成の推進 自己評価

取組		
ア 青少年が健やかに成長できる環境づくりの推進 ・青少年非行防止活動(青少年育成推進員) 有害図書区分陳列状況巡回確認、夜間パトロール実施など	生涯学習	○
イ 青少年体験活動の推進 ・子ども大学みやしろ 子供たちの知的好奇心に応える場として日本工業大学を中心として講座を開設 ・新みやしろ郷土かるた大会 郷土宮代の歴史、名所、文化などを感じ郷土愛を育むため実施 競技を通じた仲間づくり、ルールを守ることなど健全育成につながる体験機会を提供 ◎放課後子供教室 放課後に安心して活動できる場を確保し、地域住民の協力により勉強やスポーツ・文化活動等に取り組む機会を提供 ＊百間小学校においてモデル事業として実施	生涯学習	○

▼家庭教育学級の開催

- ・小学校（令和元年10月1日・2日・3日）
各小学校と連携し、就学時健康診断の時間を活用して親の学習会を開催
須賀小学校 53人、百間小学校 55人、東小学校 66人、笠原小学校 84人
- ・中学校（令和元年11月12日）
PTAと連携し、思春期の子供を持つ保護者を対象とした学習会を開催
須賀中学校 12人

・PTAとの連携で中学生の保護者を対象とした学習会が開催されましたが、参加人数が少ないのが残念です。
・家庭教育学級は、深く考えさせられる内容でした。多くの保護者に聞いてもらえるよう、ぜひ継続していただきたいです。
・学校と家庭との連絡をとり、お互いに補い合える環境づくりは良いと考えます。

▼入学準備金補助制度

利子補給件数 1件 上限30,000円
申請件数 0件

▼青少年非行防止活動（青少年育成推進員）

- ・青少年健全育成駅頭キャンペーン
令和元年7月4日（木） 東武動物公園駅
- ・青少年非行防止夜間パトロール
令和元年8月17日（土） 町民まつり会場周辺
令和元年12月13日（金） 宮代町全域
- ・有害図書等取扱店舗の巡視（コンビニエンスストア）
令和元年11月25日（月） 6店舗

・青少年非行防止活動は、宮代町のような都会と田舎の間のような地域には特に必要だと思います。

▼子ども大学みやしろの開催

（令和元年9月15日～11月17日 4日間）

参加者：41名（H30 54名）

講義：第1回 9月15日

シオマネキ型ロボットハンドを作ろう（38名）

第2回 9月23日 3Rについて知ろう（38名）

第3回 11月10日

身近な環境から学ぶ持続可能な社会へのヒント（39名）

第4回 11月17日 デザイナー体験（39名）

▼新みやしろ郷土かるた大会の開催（令和元年7月7日）

参加者：107チーム・321名（H30 87チーム・261名）

▼彩の国21世紀郷土かるた宮代大会の開催（令和2年1月19日）

個人戦及び団体戦

参加者：個人戦の部 7名、団体戦の部 15組

（H30 個人戦の部11名、団体戦の部16組・64名）

※成績上位チームは埼玉北大会及び県大会の出場権を獲得
（県大会は新型コロナウイルスの感染防止のため中止）

▼放課後子供教室

（令和元年7月～令和2年3月※8月を除く 全8回中7回実施）

※新型コロナウイルスの感染防止のため3月開催を中止

参加登録者：33名 ※1年生は原則10月から参加

参加者総数：183名

アンケート満足度：86%

運営スタッフ：10名

シニアボランティア：1名（縁じよいメンバー登録者）

協力団体：宮代町さわやかクラブ連合会、
宮代町スポーツ推進委員、宮代町卓球連盟、
山崎山保全ボランティア里山守り隊、
共栄大学教育学部の学生

・様々な体験活動を企画、運営していただいています。少子化の中参加人数を増やすのはなかなか難しいことですが、様々な体験が子供の興味関心のきっかけになります。今後も引き続き体験活動の充実をお願いします。
・日本工業大学という良い環境を利用して結果が出ることを期待します。
・新みやしろ郷土かるたが町内で利用され根付いているようで良いと思います。
・放課後子供教室について、もっと周知して利用者を増やしていただきたいと思っています。

<p>ウ 育成団体との連携・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年相談員活動（サマーキャンプ他） ・青少年育成推進員活動（非行防止パトロール他） ・子ども会育成連絡協議会との連携（かるた大会他） ・青少年健全育成団体支援（特定分野総括助成金） 	生涯学習	○
--	------	---

基本目標5 生涯学習とスポーツの振興

施策（1）町民の創意を生かした生涯学習の推進 自己評価

<p>取組</p> <p>ア 生涯学習の機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みやしろ大学（対象60歳以上）運営委員（9名）を中心とした講義等の企画・運営 	生涯学習	○
<p>イ 公民館活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館3館の適正管理 利用者の安全と快適な利用環境づくりのため、週2回の巡回点検をはじめ、定期清掃、消防訓練などを実施 	生涯学習	◎
<p>ウ 図書館活動とサービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町立図書館の管理運営（指定管理者との連携） ・新図書館システムを活用した小中学校図書室との連携強化 ・調べる学習コンクールの開催 ・ビブリオバトル中学生大会の開催 ・デジタル郷土資料の活用（郷土史講座、小中学校授業での活用） <p>◎図書館ビジョンの改定 平成21年度に策定した「図書館ビジョン（図書館の将来像とその実現のための施策）」を、指定管理者導入による成果と課題、社会状況の変化を踏まえたものとして改定</p>	生涯学習 学校教育	○

<p>▼青少年育成団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年相談員サマーキャンプ実施委託 (令和元年7月26日～28日) ・青少年育成推進員による啓発活動、非行防止パトロール他の実施 ・子ども会育成連絡協議会のかるた大会への協力 (審判、読み手) ・青少年健全育成団体支援(特定分野総括助成金) 対象団体：子ども会育成連絡協議会、 ボーイスカウト宮代第1団 	<p>・青少年育成団体支援については、今後も継続していただきたいと考えます。</p>
---	--

令和元年度の執行状況	点検・評価委員意見
------------	-----------

<p>▼みやしろ大学の開催(平成31年4月～12月・全8回) 運営委員(受講生9名)による企画運営 登録者数： 307名 (H30 307名) 受講者総数： 1,293名 (H30 1,265名) アンケート満足度： 91% (H30 84%)</p> <p>▼令和2年成人式(令和2年1月12日) 実行委員(新成人14人)による企画運営 出席者数：224人 (H30 203人) 出席率： 66.5% (H30 63.8%)</p>	<p>・高齢化の進んだ当町において、生涯学習、生涯スポーツの充実を進めるために、公民館、グラウンドの整備及び安全確認を行い、駐車場等の確保も必要と考えます。</p>
---	--

<p>▼3館(和戸、百間、川端)体制により運営 「地域の身近な学習拠点」として、文化芸術から軽スポーツまで、様々な活動に利用 開館日数：和戸300日、百間302日、川端306日 稼働率48.2% (H30 開館日数308日 ※和戸301日 稼働率41.7%) 利用者数：50,080人 (H30 51,885人) 利用回数：5,265件 (H30 5,341件)</p> <p>▼和戸公民館エアコン更新工事(平成30年度繰越事業) 工期：令和元年4月1日～6月21日 (臨時休館：6月4日～6月9日※6日間) 内容：館内エアコン更新工事(11台)</p> <p>▼百間公民館非常階段等撤去工事 工期：令和元年12月20日～3月27日 (臨時休館：3月17日～3月20日※4日間) 内容：非常階段等撤去、駐車スペース整備</p>	<p>・公民館のエアコン更新工事や非常階段等撤去工事など、生涯学習の拠点となる公民館の整備を実施していただき感謝します。</p>
---	--

<p>▼指定管理者による管理運営 指定管理者 (株)図書館流通センター 指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>▼蔵書数</p> <table border="0"> <tr> <td>図書資料</td> <td>262,247冊 (H30 260,234冊)</td> </tr> <tr> <td>うち一般書</td> <td>200,011冊 (H30 198,889冊)</td> </tr> <tr> <td>うち児童書</td> <td>62,236冊 (H30 61,345冊)</td> </tr> <tr> <td>視聴覚資料</td> <td>8,150点 (H30 8,078点)</td> </tr> </table> <p>▼利用実績</p> <table border="0"> <tr> <td>開館日数</td> <td>288日 (H30 290日)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※台風19号による臨時休館 2日間</td> </tr> <tr> <td>貸出者数</td> <td>80,695人 (H30 91,990人)</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>282,958冊 (H30 331,892冊)</td> </tr> </table> <p>▼月例・季節行事等の参加者数 延べ 3,793人 (H30 4,484人)</p> <p>※新型コロナウイルスの感染防止のため、令和2年3月6日から一部サービスを中止及び2月21日から行事を延期・中止</p> <p>▼小中学校と町立図書館との連携〔再掲〕 ①全小中学校への司書の派遣、②学校への図書の貸し出し、 ③小学校1年生へのブックスタート(本のプレゼント)を実施</p> <p>▼第2次図書館ビジョンの策定 パブリックコメント実施(令和元年1月22日～2月17日) 意見総数 2件(意見提出者数 1名)</p>	図書資料	262,247冊 (H30 260,234冊)	うち一般書	200,011冊 (H30 198,889冊)	うち児童書	62,236冊 (H30 61,345冊)	視聴覚資料	8,150点 (H30 8,078点)	開館日数	288日 (H30 290日)	※台風19号による臨時休館 2日間		貸出者数	80,695人 (H30 91,990人)	貸出冊数	282,958冊 (H30 331,892冊)	<p>・これからの図書館には感染対策が必須となると思います。感染対策を十分に行い、安心して利用できる環境を築き上げていってほしいと思います。</p>
図書資料	262,247冊 (H30 260,234冊)																
うち一般書	200,011冊 (H30 198,889冊)																
うち児童書	62,236冊 (H30 61,345冊)																
視聴覚資料	8,150点 (H30 8,078点)																
開館日数	288日 (H30 290日)																
※台風19号による臨時休館 2日間																	
貸出者数	80,695人 (H30 91,990人)																
貸出冊数	282,958冊 (H30 331,892冊)																

<p>エ 文化芸術の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民文化祭（11月2日～5日） 文化・芸術活動の成果の発表 舞台発表、作品展示、公演会の開催 ・文化芸術団体の支援（特定分野総括助成金） 	生涯学習	○
--	------	---

施策（２）人権教育の推進 自己評価

取組		
<p>ア 地域社会や職域における人権教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮代町人権教育推進協議会 人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくり ・障害者差別解消法、部落差別解消法等の法制定を踏まえた人権教育の実施 	生涯学習	○
<p>イ 人権啓発資料の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発資料購入、配布 ・啓発活動 	生涯学習	○
<p>ウ 人権教育指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会への参加 	生涯学習	○

施策（３）郷土の伝統文化の継承と新しい町民文化の創造 自己評価

取組		
<p>ア 文化財保護の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護、保存 	生涯学習	○
<p>イ 遺跡の保護と調査研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財発掘調査 ・昭和63年度第1次地藏院遺跡調査整理作業 ・平成29年度道仏遺跡調査整理作業 	生涯学習	○

<p>▼第41回宮代町民文化祭（令和元年11月2日～5日） 町民の生涯学習活動の発表、鑑賞者が活動に参加するきっかけづくりの場として開催 舞台発表： 1,406人（H30 1,430人） 作品展示： 1,574人（H30 1,754人） 文化公演会「マリンバ ファンタジー・コンサート」 （令和元年11月4日） 来場者 286人</p> <p>▼特定分野総括助成金の交付 市民団体との継続的な協働により町の文化芸術の振興を図るため、宮代町文化協会に対し助成金を交付 宮代町文化協会 405,000円（H30 405,000円）</p>	<p>・町民文化祭、スポーツ大会の取組は良いことだと思います。</p>
---	-------------------------------------

令和元年度の執行状況	点検・評価委員意見
------------	-----------

<p>▼各種研修会と宮代町人権教育推進協議会による活動 人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくりの推進を図るため、研修会等を通して人権について考える機会を提供 総会及び研修会 令和元年6月21日 37名 人権作文発表会 令和元年12月5日 164名 人権問題合同研修会 令和2年1月27日 67名</p>	<p>・差別のない社会を作るための努力を継続することは良いことだと思います。</p>
<p>▼人権文集（あおぞら第25集）の発行 700部</p>	
<p>▼人権啓発教育研修会の開催 教職員人権教育研修会 令和元年8月22日 テーマ「差別の現実から学ぶ」 113名</p> <p>▼子ども人権講座 小学6年生を対象 全小学校 令和元年11月25日、27日（計4回） 249名</p>	

令和元年度の執行状況	点検・評価委員意見
------------	-----------

<p>町内に残る貴重な文化財の保護と、文化財に対する調査 ▼文化財保護委員会の運営（委員8名） 第1回 令和元年 6月26日 第2回 令和元年12月22日 第3回 令和2年 3月26日 ※新型コロナウイルスの感染防止のため中止</p>	
<p>文化財保護法に基づく、試掘調査、整理作業 ▼埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査 19件 主に個人住宅建設に伴うもの （近接遺跡：西光院遺跡、山崎南遺跡、姫宮神社遺跡、道仏上遺跡、中寺遺跡、逆井遺跡、中北遺跡、平島遺跡、国納丸屋遺跡、台越遺跡、道仏北遺跡） ▼遺跡の記録保存のために行われる発掘調査 1件 個人住宅建設に伴うもの （当該遺跡：姫宮神社遺跡） 期間：令和元年5月20日から7月22日まで ▼埋蔵文化財の遺物整理 昭和63年度地藏院遺跡、平成29年度道仏遺跡、令和元年度姫宮神社遺跡等の整理作業を実施</p>	<p>・宮代町にある貴重な文化財の調査、保護は今後も続けていただきたいと思います。</p>

<p>ウ 文化財の活用と郷土学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史講座、こども体験講座の実施 夏休みを中心として各種講座の実施 ・文化財案内板設置 	生涯学習	○
<p>エ 資料館活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料館管理運営 「見て、聞いて、体験して」という基本的な考えのもと、特別展や企画展、講座等を実施、資料の整理、保存、調査、研究を推進 ・企画展、特別展の開催 ・郷土資料館外構整備工事測量設計業務委託 敷地の一部返却に伴う、駐車場、フェンス、電柱などの敷地内設備の移設及び改修工事のための設計委託 	生涯学習	○

<p>▼町内に残る貴重な文化財を保護するための啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器づくり教室 令和元年7月20日、8月27日 小中学生 19名 ・夏休み体験教室「郷土資料館へ行こう」 令和元年7月、8月 小中学生 延べ119名 ・縄文ペンダントづくり (2回) まが玉づくり (2回) しぼり染め体験 (2回) 和とじノートづくり (2回) <p>▼各種講座・体験学習教室</p> <ul style="list-style-type: none"> 「琵琶のしらべ」 令和元年5月26日 40人 「御朱印帳づくり体験講座」 令和元年6月22日 13名 「かやぶき民家で聞く昔話」 令和元年8月3日 20人 「移築民家と「アタラシイ」ゲキ16」 令和元年9月16日 30人 <p>▼文化財案内板の設置 五社神社 (銘板の更新)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に残る文化財を保護するための啓発活動として様々な体験学習の機会を設けていただき感謝します。今後も、体験学習や資料館における企画展などを実施し、郷土の伝統文化等の継承に資していただきたいです。 ・夏休みを利用した体験教室は、児童生徒にとって、郷土を学ぶとても良い経験になると思います。ぜひ、継続していただきたいと思っています。
<p>▼開館実績 日数 282日 / 利用者総数 10,844人 (H30 269日 12,678人)</p> <p>▼普及・啓発事業の実施 郷土資料館のホームページを通じた宮代町の歴史、文化財の紹介 文化財・建造物調査報告書、古文書史料集、郷土史料など書籍として刊行されていない資料をPDFで公開</p> <p>▼特別展・企画展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 「道仏遺跡発掘出土品展」 平成31年3月17日～5月6日 1,259人 *4・5月分の来場者数 「身のまわりの生活史11 まなぶ」 令和元年5月11日～7月7日 3,329人 「広報みやしろ～発信された宮代あれこれ 平成編～」 令和元年7月14日～10月22日 1,943人 「みやしろの消防」 令和元年10月26日～12月24日 1,783人 「おひなさま」 令和2年1月5日～3月8日 2,208人 「宮代の遺跡 ～土の中の文化財～」 令和2年3月14日～7月6日 460人 *3月分の来場者数 	

取組

<p>ア 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民体育祭（10月13日） 町民の健康増進、体力の向上、生きがいつくりと地域コミュニティの醸成 ・綱引大会（12月8日） ・各種スポーツ大会・教室 町民スポーツ大会、ファミリーハイキング、年少者スキー教室 	<p>生涯学習</p>	<p>○</p>
<p>イ 誰でも気軽に参加できる健康・体力づくり活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さいかつぼーる体験（全10回） ・あそびと運動 トライ（対象：小学校1・2年生 春・秋 各5回） チャレンジ（対象：小学校3・4年生 全15回） ・大人の体力テスト 	<p>生涯学習</p>	<p>○</p>

- ▼第47回町民体育祭（令和元年10月13日）
 - ※台風19号の接近に伴い中止
 - 地区対抗種目参加 13チーム/36地区
（H30 16チーム/40地区）
- ▼第36回宮代町綱引大会（令和元年12月8日）
 - 参加者数 25チーム 253名
- ▼町民スポーツ大会（9大会）
 - 実施期間 令和元年7月21日～令和2年1月5日
 - ・野球 14チーム ・ソフトボール 14チーム
 - ・硬式テニス 18組 ・ソフトテニス 36組
 - ・バレーボール 7チーム ・卓球 72名
 - ・剣道 104名 ・サッカー 4チーム
 - ・弓道 19名
- ▼第22回ファミリーハイキング（令和元年10月26日）
 - 行 先：秩父方面（橋立鍾乳洞、浦山ダム等）
 - 参加者数：40名
- ▼第45回年少者スキー教室（令和2年1月11日～12日）
 - 行 先：栃木県日光湯元温泉スキー場
 - 対 象：小学校4～6年生
 - 参加者数：146名
- ▼少年少女スポーツ振興事業
 - ・少年少女スポーツフェスティバル
 - 令和元年6月16日 参加者数 305人
 - ・少年少女ロードレース大会
 - 令和2年2月8日 参加者数 312人

・スポーツを通じて他校の児童生徒と関われることは、子どもたちにとって大きな刺激になると思います。しかしながら、一部イベントにおいてインフルエンザが蔓延した可能性があると聞いています。児童生徒の健康状態への配慮と感染対策を行いつつ、ぜひ継続していただきたいです。

・町民体育祭については、天候に左右されることは仕方ないことだが、参加地区の減少が課題であると考えます。

・町民スポーツについても、一部の競技を除き減少傾向にあるが、少子高齢化の影響だけとは言い切れず、総合運動公園の指定管理者、町スポーツ推進委員、地域スポーツクラブ、町体育協会と連携して何かできないものかと思います。

- ▼さいかつぼーる体験（全10回中 9回開催）
 - ※新型コロナウイルスの感染防止のため3月は中止
 - 参加者数 延べ76名
- ▼あそびと運動
 - ・トライ
 - 春季（全5回）令和元年5月・6月 19名／延べ78名
 - 秋季（全5回）令和元年10月・11月 14名／延べ62名
 - ・チャレンジ
 - 令和元年5月～令和2年3月（全15回中 13回開催）
 - ※新型コロナウイルスの感染防止のため3月（2回）は中止
 - 参加者数 12名／延べ111名
- ▼大人の体力テスト
 - 令和元年6月2日開催 参加者数 17名

・誰もが、いつでも、どこでも気軽に参加できるスポーツ環境を整えていただいていることに感謝します。

<p>ウ スポーツ施設の運営と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町営グラウンド、テニスコート、アーチェリー場の適正管理 地域の身近な運動広場として、草刈や修繕など適切な管理を行い、スポーツ活動や地域コミュニティ醸成のため地域活動などにも利用 ・ぐるる宮代の管理運営（指定管理者との連携） 指定管理者 ミズノグループ 代表企業 美津濃株式会社 指定期間 平成30年4月1日～平成35年3月31日（5年間） <p>管理業務や経理状況に関する報告（随時）、定期打合（月1回）実施</p> <p>◎総合運動公園の整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> トレーニング室ランニングマシン等の更新・設置 野球場内外野段差の整備及びバックネットの修繕 野球場放送棟へのエアコン設置 	生涯学習	○
<p>エ 学校体育施設利用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設開放（体育館、グラウンド） 	生涯学習	○
<p>オ スポーツ指導者の養成と団体支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員活動（各種研修機会） ・スポーツレクリエーション団体支援（特定分野総括助成） 体育協会の広報活動、各加盟団体活動費等を助成 ・総合型地域スポーツクラブ育成支援 	生涯学習	○

<p>▼総合運動公園（ぐるる宮代）の管理運営</p> <p>指定管理 第3期：平成30年4月1日～令和5年3月31日 ミズノグループ 開館日数 321日／利用者総数 219,466人（H30 228,070人） 管理業務や経理状況に関する報告（随時）定期打合（月1回）実施</p> <p>自主事業の実施 参加者延べ人数 45,823人（H30 50,105人） スポーツ関連／テニス教室、水泳教室、バドミントン教室、新体操教室等 健康関連／膝痛・腰痛体操教室 高齢者健康関連／60才から始める健康プログラム、体力測定</p> <p>▼総合運動公園の整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室ランニングマシン等の更新 令和元年7月設置 ランニングマシン 2台、コンディショニングマシン 1台 ・野球場バックネット修繕工事 令和元年7月完成 ・野球場放送棟エアコン設置工事 令和元年8月完成 ・野球場内外野段差解消工事 令和2年1月完成 <p>▼社会体育施設</p> <p>スポーツ活動や地域コミュニティ醸成のため活動などにも利用される身近な運動場の草刈りや修繕など適切な管理を実施 開園日数 359日 利用者総数 46,654人（H30 57,500人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド（前原、東、宮東、東条原） ・宮東テニスコート ・山崎アーチェリー場 	<p>・昨年度から健康増進法による公共施設の敷地内禁煙が開始されていますが、更なる利用者への周知の徹底をお願いします。</p>
<p>▼学校施設開放（夜間及び土日祝日の開放）</p> <p>体育館（各小中学校） 集会室（笠原小学校） グラウンド（各小学校） 夜間照明（前原中学校） 校庭等利用 533件 13,501人 （H30 579件 13,721人） 体育館等利用 1,420件 24,604人 （H30 1,643件 28,443人） ※新型コロナウイルスの感染防止のため3月は開放中止</p>	
<p>▼スポーツ推進委員活動（委員13名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会 毎月開催 ・協力事業 さいかつぼーる体験（9回） あそびと運動 トライ 小学校1・2年生対象（10回） チャレンジ 小学校3・4年生対象（13回） ・大人の体カテスト（令和元年6月2日） ・広報誌「スポーツ推進委員だより」発行（年1回/令和元年11月1日発行） <p>▼特定分野総括助成金の交付</p> <p>市民団体との継続的な協働により、町のスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、関係団体に対し助成金を交付 宮代町体育協会、宮代町スポーツ少年団</p>	

IV. 宮代町教育振興基本計画 成果指標達成状況（令和元年度末現在）

基本目標1

施策指標	単位	平成26年度	令和元年度	令和2年度
1 基礎学力定着度				
全国学力学習状況調査において全国平均を上回る科目の割合	小学校	75%	75%	100%
	中学校	100%	33%	100%
埼玉県学力学習状況調査において埼玉県平均を上回る科目の割合	小学校	未実施	75%	100%
	中学校		33%	100%
3 郷土の偉人「島村盛助」を顕彰する英語活動発表会	各中学校区単位	実施	実施	実施
4 環境教育 宮代江戸の日・キッズエコサミットの実施	町全体	実施	実施	実施
5 ICT機器を活用して授業ができる教員の割合(文部科学省調査)	小中学校	65%	78%	90% 以上
6 支援籍交流活動の実施校	小中学校	小中学校全校	小学校全校	小中学校全校

基本目標2

施策指標	単位	平成26年度	令和元年度	令和2年度
1 小中学校における読書活動	小学校	2冊/月	4冊/月	4冊/月
	中学校	1冊/月	2冊/月	2冊/月
2 不登校(年間30日以上)児童・生徒数の割合	小学校	0.3%	0.1%	0%
	中学校	1.5%	2.7%	0%
3 体力テスト 5段階絶対評価で上位3ランク(ABC)の児童生徒数割合 (埼玉県目標値 小80% 中85%)	小学校	83%	86%	85% 以上
	中学校	87%	86%	90% 以上
4 「学校が楽しい」と思う児童生徒の割合 (全国学力学習状況調査)	小中学校	84%	質問紙の項目から削除	100%
5 朝食を毎日食べる児童生徒の割合 (朝食アンケート)	小学校	94.9%	89.1%	95% 以上
	中学校	91.0%	84.8%	95% 以上

基本目標3

施策指標	単位	平成26年度	令和元年度	令和2年度
1 各小中学校のホームページ毎月更新校	小学校	2校	全小学校 全中学校	全小学校
	中学校	1校		全中学校
2 委嘱研修の実施	小中学校	全校	全校	全校
3 小中学校トイレ改修※ 洋式化の割合	小中学校	全体平均 30%	全体平均 30%	全体平均 50% 以上

基本目標4

施策指標	単位	平成26年度	令和元年度	令和32年度
1 学校と連携した家庭教育学級の開催	全小学校	町教委単独 (学校連携なし)	3	全小学校との 連携開催
2 宮代郷土かるた(改訂版)の製作		平成7年度製作	改訂 (H28年度)	達成

基本目標5

施策指標		単位	平成26年度	令和元年度	令和2年度
1 みやしろ大学への延べ参加者数 受講者満足度	参加者数		1,152人	1,293人	1,300人
	受講満足度		90%	91%	92.0%
2 町立図書館の貸出冊数(宮代町民対象)	貸出冊数		237,425冊	205,086冊	244,000冊
3 図書館利用者満足度	利用満足度		93.6%	97.5%	95.0%
4 人権啓発のための各種研修会の実施	開催回数		3回	3回	毎年3回 以上
5 文化財案内板の設置	設置箇所		34基	40基	36基
6 郷土資料館	来館者数		9,321人	10,844人	10,000人
7 スポーツ・レクリエーション教室	参加者数		602人	473人	650人
8 総合型地域スポーツクラブの設置			設立準備	1団体	1団体